

要 覧

令和 **7** 年度

群馬県総合教育センター

Gunma Prefectural Board of Education Comprehensive Education Center

目次

I	沿革	1
II	組織・職員	2
III	総合教育センターの主な取組	3
IV	事業概要	
1	研修事業	
(1)	研修講座	4・5
(2)	教育研修員研修	6
2	調査研究事業	7
3	教育活動支援事業	
(1)	カリキュラムセンター	8
(2)	ぐんまスクールネット	9
(3)	教育情報の提供	9
4	相談支援事業	
(1)	相談窓口	10
(2)	相談支援	11
5	特別支援教育センター事業	12
6	幼児教育センター事業	12
7	ハートフル・スクール・サポートステーション事業	13

施設配置図

案内図

I 沿革

- 昭29. 6 群馬県教育研究所設置
(県立図書館内)
- 昭35. 4 群馬県科学技術教育センター設置
(県立前橋工業高校内)
- 昭36. 4 群馬県教育研究所移転(県庁内)
- 昭37. 11 群馬県科学技術教育センター竣工
(前橋市荒牧町)
- 昭42. 4 群馬県教育センター設置
(前橋市荒牧町)
群馬県教育研究所及び群馬県科学技術教育センター廃止
教育研修員制度開始
- 昭42. 7 群馬県教育センター開所



群馬県教育センター(前橋市荒牧町)

- 昭46. 3 中型電子計算機設置(FACOM230-25)
- 昭52. 7 群馬県教育センター10周年記念式典
- 昭62. 7 群馬県教育センター20周年記念式典
- 昭63. 9 中型電子計算機更新(FACOM730-20)
- 平 3. 12 群馬県総合教育センター(仮称)建設工事着工
- 平 4. 4 総長の設置
教育センター開設準備班の設置
- 平 5. 8 本館棟・講堂棟竣工
- 平 5. 12 前橋市から伊勢崎市に移転
- 平 6. 1 「群馬県教育センター」を廃止し、「群馬県総合教育センター」を設置、特殊教育センターを附置



群馬県総合教育センター(伊勢崎市今泉町)

- 平 6. 2 中型電子計算機更新(FACOM1600-2)
- 平 6. 3 AVシステム導入
- 平 6. 4 群馬県総合教育センター開所
- 平 8. 3 教育用ソフトウェアライブラリ設
- 平 9. 10 インターネット拠点設置
- 平12. 10 教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)の受信設備導入

- 平14. 2 「総合発表フェスタ」開始
(後の「ぐんま教育フェスタ」)
- 平14. 2 ぐんまスクールネット(GSN)の運用開始
- 平15. 4 グループ制導入
「特殊教育センター」を「特別支援教育センター」に改称
「ぐんま教職員ステージアップシステム」の導入
- 平17. 9 児童生徒学力向上調査研究開始
- 平18. 4 「カリキュラムセンター」設置
「子ども教育支援センター」設置
メールマガジン配信開始
- 平18. 11 「いじめ緊急対策室」設置
- 平19. 3 児童生徒学力向上調査研究結果報告
- 平19. 4 「幼児教育センター」設置
「ぐんま教師塾」(特別研修員)開設
(~平20. 3)
- 平20. 4 係制導入
「いじめ緊急対策室」を「いじめ対策室」に改称
- 平25. 4 「いじめ対策室」を「いじめ・生徒指導相談室」に改称
「生徒指導相談係」「いじめ対策係」を「いじめ・生徒指導相談係」に統合
- 平27. 4 「いじめ・生徒指導相談係」を「子ども教育相談係」に改組し、相談事業の窓口を「子ども教育相談室」に一本化
- 令 6. 4 ワンストップ相談窓口『心と学びのサポートセンター「つなぐん」』を「子ども教育相談室」に設置

歴代総長、所長

平 6. 1~ 8. 3	坂西 輝雄	総長
平 6. 1~ 7. 3	岩井 榮壽	所長
平 7. 4~ 8. 3	田畑 一夫	所長
平 8. 4~10. 3	鈴木 信行	所長
平10. 4~13. 3	池田 眞澄	所長
平13. 4~15. 3	山口 晃	所長
平15. 4~17. 3	津久井 勲	所長
平17. 4~19. 3	飯野 眞幸	所長
平19. 4~20. 3	濱田 陽一	所長
平20. 4~22. 3	橋本 正男	所長
平22. 4~24. 3	高橋 宏明	所長
平24. 4~25. 3	木村 雅治	所長
平25. 4~26. 3	堀澤 勝	所長
平26. 4~27. 3	宮内 伸明	所長
平27. 4~28. 3	小笠原祐治	所長
平28. 4~29. 3	岡島美智子	所長
平29. 4~31. 3	野村 晃男	所長
平31. 4~令2. 3	上原 篤彦	所長
令 2. 4~ 3. 3	藤塚 博幸	所長
令 3. 4~ 4. 3	竹之内 篤	所長
令 4. 4~ 5. 3	黒澤 英樹	所長
令 5. 4~ 7. 3	古市 功	所長
令 7. 4~	西村 琢巳	所長

II 組織・職員

<p>所 長 西村 琢巳</p> <p>副所長 (兼) 子ども教育 相談室長 川端 良信</p> <p>次 長 有坂 和則</p>	<p>総務係</p> <p>係長(総括) 小林 日出子</p>	<p>予算の編成・管理、施設・財産の管理、受講者旅費、講師報償費・旅費 等</p> <p>主幹(総括) 関根 幸枝 副主幹 高木 泉 主任 新井 哲 副主幹専門員 (ハートフルスクールポータルステーション) 内林 美里 会年職員 田邊 勝彦 梶塚実知代 金子 純子 関屋 浩 角橋 慶輔 会年職員 (ハートフルスクールポータルステーション) 新井 有希子 横堀 真理子 他スタッフ6名</p>
	<p>研究企画係</p> <p>補佐(係長) 天田 直木</p>	<p>研修講座の企画、教育研修員研修の企画、調査研究の企画、教育実践研修の企画、生徒指導関連研修の運営 等</p> <p>主任指導主事 道上 行彦 指導主事 木戸 健裕 住吉 里恵 新井 浩史 柏木 純 望月 香織 千木良昌計 主幹専門員 田村 克美</p>
	<p>義務教育研究係</p> <p>補佐(係長) 帖佐 一</p>	<p>義務教育関係研修の運営、特別研修の運営、ぐんま教育フェスタ 等</p> <p>主任指導主事 本田 伸一 指導主事 西原 和久 橋本 亮 飯島 花織 塚田 裕香 塚本紗央里 柳川 祥恵 高橋 光伸</p>
	<p>高校教育研究係</p> <p>補佐(係長) 町田 邦江</p>	<p>高校教育関係研修の運営、長期研修の運営、ぐんま教育賞 等</p> <p>指導主事 鈴木 崇元 三田村 悟 新井 裕之 福島 悠子 千本木 淳 小林 浩之 佐藤 雄亮 飯嶋 肇</p>
	<p>教育情報推進係</p> <p>補佐(係長) 若林 拓也</p>	<p>情報関係研修の運営、長期社会体験研修の企画運営、カリキュラムセンター運営 管理、ぐんまスクールネット運営管理、AV教育機器管理 等</p> <p>指導主事 高橋 邦明 神戸 圭介 大野 友朗 茂木 悟 茂木 一道 主 幹 高田 知子 会年職員 小倉 明子</p>
	<p>特別支援研究係 (特別支援教育センター)</p> <p>補佐(係長) 町田 直紀</p>	<p>特別支援教育関係研修の運営、特別支援教育センターの運営 等</p> <p>指導主事 村上 亮 周藤 敦志 澤田 佳祐</p>
	<p>幼児教育センター</p> <p>補佐(センター長) 中村 崇</p>	<p>幼児教育関係研修の運営、家庭教育支援、幼児教育支援 等</p> <p>指導主事 大島 崇 木村 弘子</p>
	<p>子ども教育相談係 (子ども教育相談室)</p> <p>補佐(係長) 西田 麻規</p>	<p>教育相談関係研修の運営、子ども教育相談室の運営、不登校対策推進事業 等</p> <p>指導主事 山田 雅之 高橋 正明 主 任 岩倉 侑祐 主幹専門員 齋藤 亮一 國峯 智 奥村 隆 副主幹専門員 中島 正充 研 究 員 藤林 明子 富田健太郎 会 年 職 員 日高千栄美 中嶋 英美 都丸 和好 渡邊 龍夫</p>

Ⅲ 総合教育センターの主な取組

総合教育センターでは、幼児、児童生徒の「生きる力」の育成に向けて教職員の資質向上を図るため、研修講座をはじめ各種事業の改善・充実に取り組んでいます。

また、相談事業など各種機能の充実に努め、子供たちや保護者、教職員から信頼される総合教育センターを目指しています。

1 研修事業

(1) 研修講座

国や県の動向、喫緊の課題等を踏まえて、教職員の経験や職種・職務に応じた研修を実施し、教職員の資質向上を図ります。

(2) 教育研修員研修

長期研修、長期社会体験研修、特別研修を実施し、高い専門性と実践的な指導力等を身に付け、指導的な役割を担うことができる人材を育成します。

2 調査研究事業

教育の今日的課題や学校等が抱えている教育課題の解決に役立つよう、教育研究等の調査研究を行います。

3 教育活動支援事業

(1) カリキュラムセンター

特色ある学校づくりと授業等の充実に向けて教育関係資料の収集と提供を行います。また、学校等の要望に応じ、指導主事を派遣して研修の支援を行います。

(2) ぐんまスクールネット

総合教育センターが教育情報ネットワークの拠点となって、県立学校が安心して様々な情報を入手し、情報発信できる環境を提供しています。

(3) 教育情報の提供

総合教育センターのWebページや電子版センターだより、Instagram、ぐんま教育フェスタ、ぐんま教育賞等を通じて学校現場等に役立つ教育情報の提供を行います。

4 相談事業

子ども教育相談室において、ワンストップ相談窓口『心と学びのサポートセンター「つながん」』を設け、相談窓口の一元化により、いじめや不登校等、教育や子育てに関する相談に対応します。また、関係機関との連携を図り、児童生徒の個々のニーズに応じ、一人一人の能力や可能性を最大限に引き出せるような支援を提供します。

5 特別支援教育センター事業

特別支援教育の充実に向けて、子供の理解や指導方法等に関する情報の発信や機関連携の強化等に取り組んでいます。

6 幼児教育センター事業

幼児期の教育の充実に向けて、研修会や講師派遣を通して幼児教育施設の職員や子育ての支援者を支援します。

7 ハートフル・スクール・サポートステーション事業

一般就労を目指す障害のある方（ステーション スタッフ）に校務職場における働く場を提供しています。

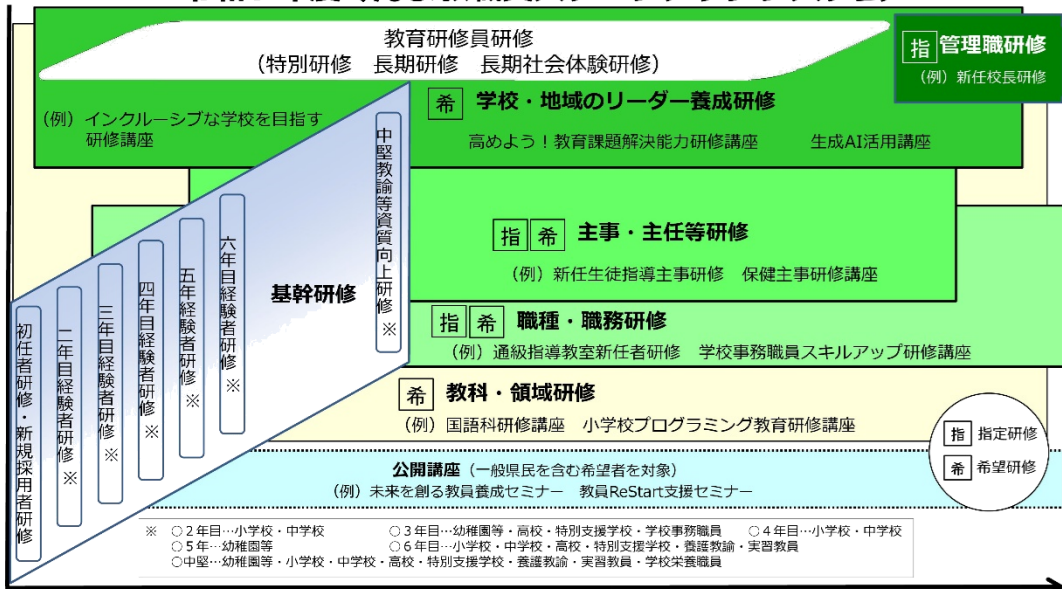
IV 事業概要

1 研修事業

(1) 研修講座

群馬県教育振興基本計画や群馬県教員育成指標を踏まえて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づいた研修を実施し、教職員の資質能力の向上を図ります。

令和7年度ぐんま教職員ステージアップシステム



	初任	10年	20年
学習指導・教科経営等	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の内容を理解し、指導目標を明確にして系統性を踏まえた指導計画を立案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の指導方針及び児童生徒の実態や習熟度に応じた指導計画を立案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教育課程をとらえ、他教科等の学習内容や系統性、学校段階等間の接続を踏まえた指導計画を立案する。
	<ul style="list-style-type: none"> 発問、教材、教具、ICTの活用等、基本的な指導技術を身に付け、本時のねらいの達成に向けて授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の反応や言動を的確にとらえ、状況に応じて臨機応変に授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体の学習上の課題について、その解決に向けた具体的な手立て等を提案する。
	<ul style="list-style-type: none"> 評価規準に基づく評価を行い、一人一人の学習状況及び自己の授業の課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況を多面的に評価して課題を把握し、実践的指導力の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体の学習上の課題を把握し、教育課程の改善に向けて具体策を提案する。
生徒指導・学級経営等	<ul style="list-style-type: none"> 受容的、共感的な態度で児童生徒に接し、一人一人の状況を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年や学校の生徒指導上の課題を踏まえ、一人一人の悩みや不安等を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒を取り巻く環境の変化等を踏まえ、学校全体の児童生徒の状況や課題を多面的に把握する。
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の個別の課題を理解し、問題行動や学習、生活上の困難の早期発見・即時対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が抱える課題や困難を分析し、学年組織を生かして自己指導能力を高める取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 部会等を機能させ、担当者間の調整を図りながら、組織的な指導・支援を推進する。
	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導における生徒指導を通して、互いに認め合える学級づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級・学年集団の特質を生かし、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育む取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の課題や児童生徒を取り巻く環境の変化をとらえ、全校体制による生徒指導を推進する。
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 組織の一員としての自覚をもち、連携・協力しながら自分の役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係する分享の担当者等と組織的な連携を図り、具体的な支援や提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 工夫改善や精選の視点をもって学校経営に参画し、様々な組織等と調整を図りながら解決策を企画し提案する。
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域等との連携の重要性を認識し、適宜、家庭との情報の共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域等との連携を深め、必要に応じて関係機関と協働して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の課題を把握し、保護者や地域、関係機関等との協働体制を構築する。
	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアル等に基づき、事案発生時の対応方法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 危機を予測して未然防止を図るとともに、事案発生時には連絡・調整役として迅速に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の危機管理体制を点検し、事故等の未然防止に向けて周囲に具体的な指示や助言を与える。

ライフステージごとの教員育成指標（一部抜粋）

（令和3年4月より適用）

◇ 令和7年度 研修講座一覧表

【該当者が受講する研修】

種別	No.	講座名
基幹研修	1	幼稚園等新規採用教員研修
	2	小・中学校初任者研修
	3	高校初任者研修
	4	特別支援学校初任者研修
	5	新規採用養護教諭研修
	6	新規採用学校事務職員研修
	7	県立学校新規採用実習教員研修
	8	小・中学校2年目経験者研修【最終年度】
	9	幼稚園等3年目経験者研修
	10	高校3年目経験者研修
	11	特別支援学校3年目経験者研修
	12	学校事務職員3年目経験者研修
	13	小・中学校4年目経験者研修
	14	幼稚園等5年経験者研修
	15	小・中学校6年目経験者研修
	16	高校6年目経験者研修
	17	特別支援学校6年目経験者研修
	18	養護教諭6年目経験者研修
	19	県立学校実習教員6年目経験者研修
	20	幼稚園等中堅教諭資質向上研修
	21	小・中学校中堅教諭資質向上研修
	22	高校中堅教諭資質向上研修
	23	特別支援学校中堅教諭資質向上研修
	24	中堅養護教諭資質向上研修
	25	中堅学校栄養職員等資質向上研修【改称】
	26	県立学校中堅実習教員資質向上研修
指定研修	27	新任幼稚園等園長研修
	28	新任校長研修
	29	新任副校長・教頭研修
	30	新任事務長研修
	31	新任幼稚園等副園長・教頭研修
	32	新任特別支援学校部主事研修
	33	新任教務主任研修
	34	新任生徒指導主事研修
	35	新任進路指導主事研修
	36	新任学年主任研修
	37	新任高校特別支援教育コーディネーター研修
	38	新任事務長代理・副主幹研修
	39	新任事務主任研修
	40	特別支援学校新任者研修
	41	特別支援学級新任者研修
	42	通級指導教室新任者研修
	43	新任特別支援学校主任寄宿舎指導員研修
	44	特別支援学校寄宿舎指導員研修

【希望者が受講する研修】

種別	No.	講座名	
希望研修	45	国語科研修講座	
	46	算数・数学科研修講座～教員同士で学び合い、授業力UP！～	
	47	社会科・地歴公民科研修講座	
	48	理科研修講座	
	49	音楽科研修講座～児童・生徒が音楽を好きになる歌唱指導法～	
	50	図画工作科・美術科研修講座～ハートに火をつける～	
	51	体育科・保健体育科研修講座	
	52	技術科研修講座	
	53	家庭科研修講座	
	54	共通教科情報研修講座	
	55	道徳科研修講座～「考えを深める」ことを意識した授業づくり～	
	56	小学校プログラミング教育研修講座	
	57	英語科研修講座～興味に応じたセルフデザイン研修～	
	58	教務主任研修講座	
	59	保健主事研修講座	
	60	学年主任研修講座	
	61	研修主任研修講座～したくなる研修を目指して～	
	62	キャリア教育実践研修講座【移行】	
	63	幼児教育と小学校をつなぐ研修講座	
	64	健康教育研修講座	
	65	学校事務職員スキルアップ研修講座	
	66	専門性を高める学校図書館担当職員研修講座	
	67	県立学校公仕研修講座【移行】	
	68	見る・触れる・体験する環境教育研修講座	
	69	高校専門教育研修講座	
	70	ICTスキルアップ研修講座～先生のためのICT活用まるごとサポート～	
	71	理科実習教員研修講座	
	72	インクルーシブな学校を目指す研修講座【改称】	
	73	視野を広げる特別支援教育研修講座【改称】	
	74	アセスメントスキルアップ講座【改称】	
	75	生徒指導力向上研修講座	
	76	外国人児童生徒等教育研修講座	
	77	食育研修講座	
	78	高めよう！教育課題解決能力研修講座	
	79	生成AI活用講座～実践アイデアの宝庫。第一歩を踏み出そう！～【改称】	
	80	中学校免許外教科担当教員研修講座	
	81	異校種異動に伴う高校教科指導力向上研修講座	
	82	高校・特別支援学校臨時的任用教員及び非常勤職員研修講座	
	83	教育相談初級研修講座	
	84	教育相談中級研修講座	
	85	ゲートキーパー養成研修講座	
	86	教育相談実践充実フォローアップ講座	
	公開講座	87	未来を創る教員養成セミナー【改称】
		88	教員 ReStart 支援セミナー【改称】

(2) 教育研修員研修

◇ 長期研修

総合教育センターにおいて1年間の研修を行います。

目的	本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導力や助言力を高めるとともに、研究協力校等や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成します。
内容	○国の動向や県教育委員会の指導方針を踏まえて、教育課題の解決に向けた研究及び研修を行います。 ○研究協力校等の校内研修に積極的に参画し、実践的な指導力や助言力を高めます。
研修員数	20名 【内訳：小12、中5、高2、特支1】

◇ 長期社会体験研修

企業等において1年間の研修を行います。

目的	企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成します。
内容	○企業等における研修を通して社会的識見を高めるとともに、学校組織の活性化に資する研修を行います。 ○研修の成果を本県のキャリア教育の充実に生かします。 本年度の研修先は次の2社です。 【株式会社ミツバ、株式会社ヤマダホールディングス】
研修員数	2名 【内訳：高2】

◇ 特別研修

学校に勤務しながら、総合教育センター等において年間25日の研修を行います。

目的	授業・保育実践等を通して、教科等の指導力を高めるとともに、研究協力校等や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成します。
内容	○幼児、児童生徒の実態に応じた授業・保育実践等を通して、指導方法や評価方法の改善に資する研究及び研修を行います。 ○積極的に授業・保育公開を行い、教職員の教科等の指導力向上に寄与します。
研修員数	30名 【内訳：幼1、小11、中8、高9、特支1】

2 調査研究事業

◇ 調査研究の推進

教育の今日的課題や学校等が抱えている課題の解決に向けた調査研究を行い、研究の成果をWebページに掲載するとともに、研修講座にも取り入れていきます。

○ 教育研究等の内容

- ・今日的な教育課題等
- ・総合教育センター各係・幼児教育センターが主管する専門的事項に関するもの
- ・その他、必要な事項

○ 研究者

指導主事・研究員及び長期研修員等

○ 研究の組織

調査研究の実施に当たっては、その内容により、次の研究組織から適宜選択して行います。

- ・係を越えた研究組織（プロジェクトチーム等）を編成して行う。
- ・係を単位とする研究組織を編成して行う。
- ・二人以上の研究組織を編成して行う。
- ・個人が単独で行う。

○ 研究結果の公表等

調査研究結果は、原則として公表します。総合教育センターWebページ、総合教育センター刊行物への掲載等を行います。

◇ 群馬大学との連携

○ 共同研究

群馬大学と県教育委員会関係課及び総合教育センターが、喫緊の教育課題を研究テーマとする研究部会を設置し、実践研究の推進と研究成果の学校現場への還元を図ります。

○ 連携事業

群馬大学と県教育委員会関係課及び総合教育センターが、共同で取り組むことが有効な事業を選定し、相互に連携して取り組み、事業の充実を図ります。

○ 講義の聴講

長期研修員が群馬大学大学院教育学研究科（専門職学位課程）の講義を聴講することで、自らの研究の深化を図り、教員としての資質の更なる向上を目指します。

3 教育活動支援事業

(1) カリキュラムセンター

特色ある教育活動の実現や授業の改善・充実等に役立つ教育資料・図書等を収集し、閲覧・貸出を行っています。また、校内研修や授業改善等に関わるものについての指導主事の派遣や総合教育センター所有の教材・教具の貸出・提供による支援も行っています。

◇ 教育資料・図書等の閲覧・貸出

◆教育関係資料の閲覧

学校・研究機関などから提供された資料、約 40,000 冊を配架

◆教育関係図書の貸出

校内研修や教材研究などに役立つ図書、約 22,000 冊を配架

- ・個人では、5 冊、2 週間貸し出します（電話連絡によって 2 週間の延長が可能）。
- ・校内研修や教材研究に活用できる「英語パック」は、1 か月間の利用が可能です（学校・研究所等の団体貸出に限定）。

◆教育用ビデオ・DVDソフトの貸出

人権教育や情報モラル教育など教育用ビデオ・DVDソフト、約 600 本を配架

- ・いじめ問題
- ・校内研修
- ・はばたけ！ぐんまの子どもたち 等



◆資料検索サービス

教育関係資料の検索が迅速化

- ・事前に申込みをすることで、来所の際すぐに閲覧・貸出ができます。

◇ 各学校園・教職員への研修支援

◆校内研修や研究会へ指導主事を派遣

- ・授業研究会での指導助言、ワークショップなどの研修支援を行います。

(例)

- ・授業研究会での指導助言
- ・生成 AI を活用した授業づくり研修
- ・ネットリテラシーに関するセミナー
- ・特別な支援が必要な子供への対応 等

◆教材・教具の貸出・提供

- ・校内研修、教科部会などの充実を支援します。

(例)

- ・田中ビナーV、WISC-IV、K-ABCII
- ・特別支援教育関係支援具
- ・三味線、箏
- ・液体窒素実験セット 等
(容器のみ)



【受付窓口】

- ・総合教育センター 2 階

【開室時間】

- ・月曜日、火曜日、
木曜日、金曜日 9:00～17:00
(水曜日・祝祭日は閉室になります)

【利用対象】

- ・県内公立学校園の教職員 等

【問合せ方法】

- ・電話：0270-26-9208
- ・電子メール：karisen@edu-g.gsn.ed.jp

【Web ページ】 <https://center.gsn.ed.jp/karisen>

(2) ぐんまスクールネット

総合教育センターが教育情報ネットワークの拠点となり、県立学校が安心して様々な情報を入手し発信できるように、ウイルス対策や閲覧制限、迷惑メール対策、各種アップデートの一元管理、メール連絡網サービス、校務支援システム（kinako）等の利用環境を提供しています。

また、総合教育センターの事業の紹介、研究の成果や教育資料の公開など、学校に役立つ各種教育情報を発信しています。なお、WebページをCMS（コンテンツ・マネジメント・システム）で構成することで、総合教育センターからの緊急時の連絡などについても迅速に対応できるようにしています。

(3) 教育情報の提供

◇ ぐんま教育フェスタ

総合教育センターにおける教育研修員の研究成果発表を軸に外部講師による特別講演など、教育における最新の情報を提供し、群馬の教育の在り方について考える機会とします。参加して良かったと思える新しいスタイルを目指して、2月7日（土）に開催する予定です。



【研究成果発表：義務教育研究係】



【特別講演】

◇ ぐんま教育賞（杉の子賞）

「分かち合おう！育てる知恵、教える知恵」を合い言葉に、県内教職員を対象として、群馬県の教育の向上に関する具体的な提言や教育実践の論文等を募集します。優れた作品を表彰し、Webページ等に掲載します。

◇ 「電子版センターだより」

総合教育センターで重点的に取り組んでいる研修講座や、最新の研究報告等の情報を掲載した「電子版センターだより」を、県内全ての国公立学校・園に電子メールで配信しています。

4 相談支援事業

(1) 相談窓口

子ども教育相談室では、ワンストップ相談窓口『心と学びのサポートセンター「つなぐん」』を設け、相談窓口の一元化により、学校・園の生活や学業、いじめや不登校、生活習慣や養育、発達の遅れや就園・就学等、教育や子育てに関する相談に対応します。

【概要】

○学校等の生活や学業、生活習慣や養育、発達や就学等、教育や子育てに関する相談

【対象】

○乳幼児から高校生までの子供、保護者、学校・園教職員 等

【相談方法】

「いつでも」「どこからでも」「いろいろな方法で」相談できるために、以下の相談窓口を設けます。

○電話相談

- ・心と学びのサポートセンター「つなぐん」 電話番号 0270-26-9200
- ・24時間子供SOSダイヤル フリーダイヤル：0120-0-78310

○来所相談

事前予約が必要です。上記、電話番号（0270-26-9200）へ御相談ください。

○訪問相談（発達に関する相談のみ、学校・園からの依頼により実施します。）

○メール相談

「総合教育センターWebページ」に掲載の「2次元コード」から問合せフォームにアクセスしてください。

○SNS相談

高校生と中学生が対象です。生徒個々に配布する「カード」に掲載の「2次元コード」からアクセスしてください。

○教職員のための相談窓口

「総合教育センターWebページ」に掲載の「2次元コード」から問合せフォームにアクセスしてください。

※原則として、採用1年目から5年目の小・中・高・特支の教諭、事務職員 等

【相談時間】

月曜日～金曜日 9:00～17:00 第2・第4土曜日 9:00～15:00

※祝日・年末年始等は除きます。

※24時間子供SOSダイヤル、メール相談受付、教職員のための相談窓口受付は24時間対応

※SNS相談は、毎週日曜日 18:00～21:00（予定）

スタッフ

指導主事、教育相談員、精神科嘱託医、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士、特別支援学校教員

- 必要に応じて、「特別支援教育センター」「幼児教育センター」（P.12）と連携して対応します。
- 言語聴覚士による「ことばの発達相談」と、臨床心理士と共に同じ悩みをもつ保護者が話し合う「あったかスマイル相談会」を実施します。

<つなぐん相談ダイヤル>

<24時間子供SOSダイヤル>



(2) 相談支援

児童生徒の可能性を「広げる」ために、市町村教育委員会や教育支援センター、学校に加え、フリースクール等との連携を図り、児童生徒の個々のニーズに応じ、一人一人の能力や可能性を最大限に引き出せるような支援を提供します。

◇ つなぐんオンラインサポート「つなサポ」

【概要】

- 「つなぐんオンラインサポート」（通称「つなサポ」）は、令和6年6月に開設予定。
「つなサポ」は、様々な理由で学校を長期欠席している児童生徒に対して、3Dメタバース上にアバターで参加しながら学習や教育相談の機会を提供することにより、コミュニケーション力や自ら学ぶ力を育成します。

【「つなサポ」の5つのポイント】

- 居場所（つながり）づくり
- 学習機会の確保
- コミュニケーション力向上
- 子供・家庭へのサポート体制構築
- 関係機関との連携

【対象】

- 県内の小・中・高・特・中等・義務教育学校に在籍し、原則として、30日以上学校に通学できていない状態が続く児童生徒 等

【同時接続定員】50名程度

【開設時間】平日10:00～15:00

スタッフ 指導主事、主幹専門員、研究員、長期研修員、教育相談員 等

【サポート内容】

- オンデマンド学習サポート（自主学習）
オンデマンド教材等を活用し、児童生徒が自分のペースで学習できるよう支援します。
 - 個別学習・相談サポート
音声やチャットを活用し、個々に応じた学習目標の設定や具体的な学習指導（補助）を行います。
必要に応じて、各教科の指導主事による学習支援を行います。
児童生徒及び保護者向けの教育相談を行い、サポート体制を充実させます。
原則、木曜日に個別の教育相談（学習相談）を行います。
 - コミュニケーションサポート
ホームルームや合同学習による体験活動等を行います。
- 家庭のパソコンから直接アクセスして参加します。（参加費無料）
 - 原則として、自宅にアプリを起動できるパソコンが整っている環境が必要です。

◇ ぐんまMANABI BAネットワーク（GMN）構築

- 総合教育センターが中心となり、市町村教育委員会、学校、教育支援センター、フリースクール等のネットワークを構築し、不登校児童生徒等への支援を充実させます。
- 県教育委員会、市町村教育委員会、教育支援センター、学校、県警少年サポートセンター、福祉部局等による協議会を開催します。
- 総合教育センターにぐんまMANABI BAネットワーク（GMN）コーディネーターを配置し、児童生徒支援に取り組む関係機関の情報を収集するとともに、「すべての子供たちに一人一人の学びの場を」提供できるよう支援します。

5 特別支援教育センター事業

特別支援教育の充実に向けて、子供の理解や指導方法等に関する情報の発信や機関連携の強化等に取り組んでいます。

情報発信

- 特別支援教育の指導上の課題解決に資する指導資料やリーフレットの発行、研修動画の配信をしています。
- 群馬大学との連携事業において「特別支援教育の充実」に係る実践交流会を実施し、優れた実践を紹介しています。

機関連携

- 教育や保健福祉等の分野の相談担当者を対象とした「障害児相談担当者連絡会」を実施し、機関連携の強化を図っています。

・電話 0270-26-9218（直通） ・電子メール tokushi@edu-g.gsn.ed.jp

6 幼児教育センター事業

幼児期の教育の充実に向けて、研修会や講師派遣を通して幼児教育施設の職員や子育ての支援者を支援します。

幼児教育施設の職員や子育ての支援者の支援

- 教職員向け研修講座
幼稚園等の教職員の資質向上を目指し研修講座を開催します。
- 夕やけ保育研修会
幼児期の教育や幼保こ小の連携・接続を巡る課題解決のための研修会や参加者同士の交流会を開催します。また、乳幼児の発達の理解を深める講演を通して、子育ての支援者を含めた保育者のスキルアップを図るための研修会を開催します。

保育アドバイザーの派遣

保育や教育の専門家が以下のような研修会やセミナーに講師として出向いて、専門的な視点から支援します。

- 幼稚園・認定こども園・保育所等の研修会や公開研究会
- 幼稚園・認定こども園・保育所等、子育て支援施設、市町村等で家庭教育の支援を目的としたセミナーや講演会

情報発信

- 「ぐんま幼児教育センターだより」を発行しています。
- 幼児教育センターWebページで、研究成果や幼児期の教育に関する話題を発信しています。

・電話 0270-26-9203（直通） ・電子メール youji@edu-g.gsn.ed.jp
・Webページ <https://center.gsn.ed.jp/yokyo>

7 ハートフル・スクール・サポートステーション事業

一般就労を目指す障害のある方（ステーション スタッフ）に校務職場における働く場を提供しています。スタッフは、支援員の指導のもとでチームで学校等での校務補助を行いながら一般就労に必要な知識や技能を身に付け、民間企業等への就労を目指します。

<学校等への派遣業務（週3日程度）>

【派遣対象施設】

- センター周辺の学校や教育施設（支援員が公用車を運転してスタッフを派遣）

【派遣スタッフ】

- チャレンジ雇用の障害のある方
定員7～9名（現在6名在籍）

【作業内容】

- 校庭の除草、落ち葉はき、花壇の手入れ、
校舎の清掃（窓ガラス清掃）、物品移動、
学校行事の準備 等



- 詳細は下記派遣申込み先へ御相談ください。

【派遣申込み先】

- ハートフル・スクール・サポートステーション
電話番号 0270-26-9206（直通）
担当 支援員 内林 美里 新井 有希子 横堀 真理子

【スタッフの勤務時間】

- 週30時間 8：45 ～ 15：45（月曜日～金曜日）
- 週20時間 8：45 ～ 13：45（月曜日～金曜日）

<障害者職業生活相談>

【派遣対象施設】

- チャレンジ雇用の障害のある方が配置された学校や教育委員会管轄下の各所属

【派遣スタッフ】

- 障害者職業生活相談員（ハートフルスクールサポートステーション支援員が兼任）

【取扱内容】

- チャレンジ雇用の障害のある方に対する職業生活相談
- 障害者の配置された学校や教育委員会管轄下の各所属に対する指導助言

< 案内図 >



— 交通案内 —

- ・ 東武伊勢崎線新伊勢崎駅から … 徒歩約10分
- ・ JR両毛線伊勢崎駅から …… 車で約10分
- ・ JR高崎線本庄駅から …… 車で約40分
- ・ JR新幹線本庄早稲田駅から …… 車で約45分
- ・ 北関東自動車道伊勢崎ICから … 車で約15分

令和7年度要覧

編集・発行 群馬県総合教育センター
〒372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町1-233-2

総務係 (代表) 0270-26-9211
FAX 0270-26-9222

研究企画係 0270-26-9212
義務教育研究係 0270-26-9213
高校教育研究係 0270-26-9214
教育情報推進係 0270-26-9215
特別支援研究係 0270-26-9218
幼児教育センター 0270-26-9203
子ども教育相談係 0270-26-9217